

# 地域9

## パラメータ適用パターン

**該当する地域**  
**能登半島地震に伴う標高補正パラメータ適用地域**

パラメータ補正は表中の番号順に実施し、各補正の出力値を次のパラメータの入力値とすること

| 測量時期  | 基準点の種類と補正に使用するパラメータ                                  |  |
|---|--|--|
| H19. 3.25   | 測量時の与点   | 補正に使用するパラメータ   |
|   | 全点   | ①能登半島地震パラメータ(標高)<br>能登半島地震パラメータで水平座標補正<br>東北地方太平洋沖地震パラメータで水平座標補正<br>②測地成果2011移行パラメータ<br>③楕円体高改定補正パラメータ<br>④ジオイド・モデル改定パラメータ |
| <p>※ 地震前に測量したものであっても、その後、能登半島地震パラメータや東北地方太平洋沖地震パラメータでの標高補正が済んでいる場合、補正済のパラメータは適用しない。</p> |  |  |
| <b>能登半島地震</b>   |  |  |
| H23. 3.11   | 測量時の与点   | 補正に使用するパラメータ   |
|   | 全点   | 東北地方太平洋沖地震パラメータで水平座標補正後<br>①測地成果2011移行パラメータ<br>②楕円体高改定補正パラメータ<br>③ジオイド・モデル改定パラメータ  |
| <p>※ 地震前に測量したものであっても、東北地方太平洋沖地震パラメータでの標高補正が済んでいる場合、ジオイド・モデル改定パラメータのみ適用する。</p>           |  |  |
| <b>東北地方太平洋沖地震</b>   |  |  |
| H26.4.1   | 測量時の与点   | 補正に使用するパラメータ   |
|   | 電子基準点<br>東北地方太平洋沖地震後の<br>測量によって電子基準点に準<br>拠した三角点・基準点 | ①楕円体高改定補正パラメータ<br>②ジオイド・モデル改定パラメータ   |
|   | その他  | ①測地成果2011移行パラメータ<br>②楕円体高改定補正パラメータ<br>③ジオイド・モデル改定パラメータ   |

## 今回の標高改定で考慮すべき補正パラメータ

### 【既存のパラメータ】

- H19年 能登半島地震標高補正
- H19年 中越沖地震標高補正
- H20年 北海道三角点標高改定
- H21年 紀伊半島三角点標高改定
- H22年 東北三角点標高改定
- H23年 東北地方太平洋沖地震 座標及び標高補正

(「H20年 岩手・宮城内陸地震標高補正」は、「H22年 東北三角点標高改定」の補正量と同一のもので考慮しない。また、「H19-20 宮古島標高補正」については、今回の標高改定範囲に含まれていないので考慮しない)

### 【新たに作成するパラメータ】

- 測量時期の違いによる標高不整合補正  
長年の地殻変動等による標高変動量の補正。電子基準点に準拠していない基準点等で使用本パラメータを用いて補正することで、旧ジオイド・モデル(日本のジオイド2000)に整合した標高となる。
- ジオイド・モデルの改定に伴う標高補正  
ジオイド・モデルの改定に伴う標高の補正
- 測地成果2011への移行に伴う標高不整合補正  
測地成果2000から2011に移行した際に生じた中日本での標高不整合の補正
- 電子基準点楕円体高改定に伴う標高補正  
H26/4/1の電子基準点楕円体高改定に伴う標高の補正

## 補正パラメータ適用パターンの選択において必要な情報

### 【測量地域】

対象とする基準点成果等あるいはその測量の地域(都道府県)

### 【測量時期】

基準点成果等を求めるために行なった測量の実施時期

### 【測量の既知点】

基準点成果等を求めるために行なった測量における既知点の種類